

6 - 4 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1987年7月～12月)

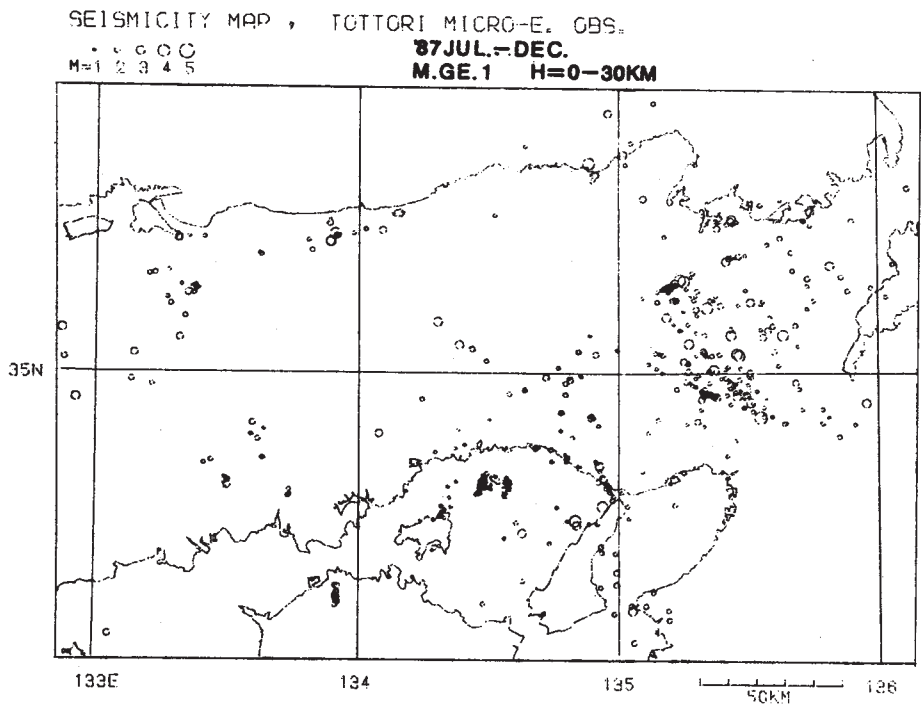
Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,
Southwest Japan (July - December, 1987)

京都大学防災研究所
鳥取微小地震観測所
北陸微小地震観測所
京都大学 理学部
阿武山地震観測所

Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku Microearthquake
Observatory, Disaster Prevention Research Institute
Abuyama Seismological Observatory, Faculty of Science
Kyoto University

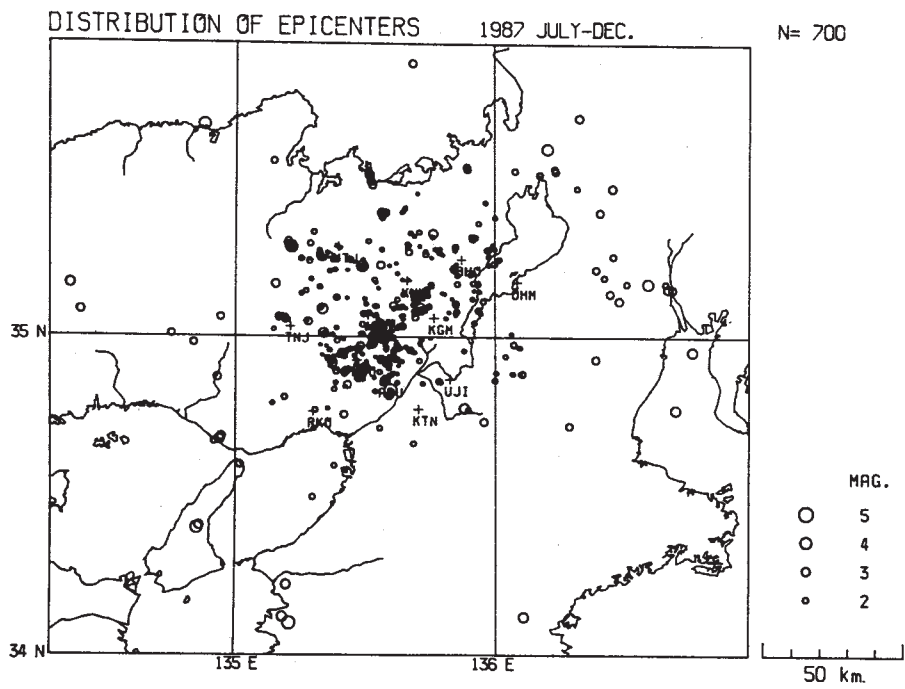
第1図に鳥取微小地震観測所の、第2図に阿武山地震観測所の結果を示す。両図に示される中国東部から近畿北部にかけての地域は概して静穏であった。しかし、M3～4程度の地震が、鳥取地域、山崎断層沿い、及び丹波地域に起こっているのがやや目立つ。

第3図には北陸微小地震観測所の結果を示す。この地域はこの期間やや活発であった。AはM4.0を最大とする地震群で余震11個が観測された。BはM4.0であった。Cは最大M4.7で、余震13個であった。DはM3.0、余震6個が観測された。



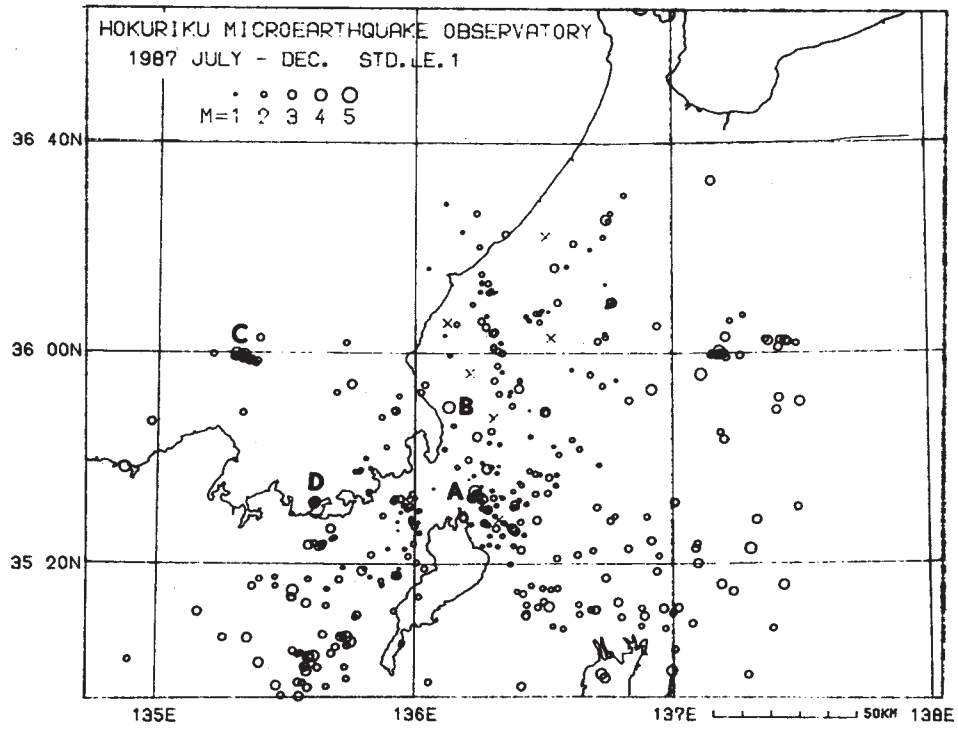
第1図 鳥取微小地震観測所による震央分布図 (1987年7月~12月)

Fig. 1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (July ~ December, 1987)



第2図 阿武山地震観測所による震央分布図 (1987年7月~12月)

Fig. 2 Seismicity map by the Abuyama Seismological Observatory (July ~ December, 1987)



第3図 北陸微小地震観測所による震央分布図 (1987年7月～12月)

Fig. 3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (July ~ December, 1987)